

# シヨムニ!!!

...によく似た名前のシヨムブ。Kanjiでかくと庶務部。

**てゅーか**シヨムニって庶務ニだしね。

てなこと、庶務部が日々何をしてるか紹介していくよ。

ひゃっはー!!!

現在の庶務部は8つの係に分かれている。他の専門部に比べて少ない人数で回していける感じがなくもないから、局は無くて全部、係。って今考えた。本当の理由は知らん。まあ、局長より係長になりたいという人や、**小学校でいきものかかりとかをしていた人**は絶対庶務部がおすすめ。いきものかかりのファンの人も、もう庶務部に入るしかない。諦めて庶務部に入ろう。

**ちなみに**庶務部は基本的に寮全体の事務、とお金の管理をするところだ。地味だけど、ここがないと寮がまわっていかない。庶務部に入った暁にはキミも「寮の○○は自分が握っているんだぜ...」とニヤニヤすることが出来る。

**では、**それぞれを細かく説明しよう。よーしおじさんはりきっちゃうぞー。さっきもちらっと書いたけど、庶務部には8つの係がある。それぞれ、集金係、大会計、寄宿料負担区分係、宿泊係、自転車係、自動車係、印刷機係、名簿係という。

- ◆集金係...お金を扱うよ。
- ◆寄宿料負担区分係...お金を大学の担当(寮務)に持ってく。
- ◆宿泊係...宿泊費を集めるよ。
- ◆大会計...目指せ世界制覇。
- ◆自転車係...自転車がすき。二ケツは乗せる方が上手い。
- ◆自動車係...カーマニア。運転免許は持ってなくても可。
- ◆印刷機係...三度の飯よりインクの匂いが好き。ちなみに印刷機の匂いってオゾンの匂いらしいよ。
- ◆名簿係...寮の名簿を作る。パソコンを持ってて、  
excelかnumbersが起動出来るとなお良し。

庶務部はキミを待っている！  
さあじよいなあす！！！！

文責：庶務部長

# こぞりて来たれ、大規模補修特別委員会へ！

初代大補特C委員長

## おもな活動

- ・補修によって吉田寮の老朽化を解消できるか検討する・実行に移す
- ・自力での補修、建物の維持のためのイベント（土木作業日）を主催する

## 大規模補修特別委員会とは

特別委員会とは、寮に関わる問題について継続的に取り組むための、寮自治会下の（つまり寮が公式に設置する）委員会です。それでは、「大規模補修」の名を冠するこの特別委員会は何に取り組んでいるか、というと「古くなった吉田寮の建物をどうするのが最善なのか考えること」と言えるでしょう。

## どういう問題に取り組んでいるのか

問題の根っこは、見ての通り吉田寮は木造で築100年近く、老朽化が年々進んでいることです。これを解決するために、二十年と言わず以前から寮自治会は大学に対して建て替えを要求していました。しかし、長年の間それは実現されず、そうしているうちにも老朽化は少しずつ進んでいきました。

2005年頃には、現在の建物を大きく（柱や土台など構造的な部分を）補修することである程度の期間（数十年のスパンです）老朽化を解決する、という方針がとられました。このときには大学も乗り気で、耐震強度調査や設計が実際に行われました。しかし、実施を待つばかりだった補修計画は2006年になぜかストップしてしまいました。現在でも、大学内でどのような検討を経てストップしたのか、明らかになっていません。

そして、2006年10月、大学から突然の建て替えの提案がありました。回答期限が1カ月もなかった中、寮生は連日会議を行いました。補修の方針を取り続けるか、建て替え案に乗るか結論は出ず、結局大学との交渉は物別れに終わります。このとき寮生は真剣に寮の未来について話し合った結果、ひどく疲弊しました。そうして、老朽化問題は、取り組まなければならない重要な課題であることを誰もが認識しながら、

議論は停滞してしまっていたのです。

それではいけない、と2009年7月に発足したのが、この「大規模補修特別委員会」です。寄宿料の値上がりなどが予想されるが建物は新しくなる建て替えか、寄宿料の安さもふくめ現在の吉田寮のよい所を継続できる大規模補修か。これを議論するためには、補修の可能性・現実性をいま一度検討する必要がある、と考えたからです。

## 活動内容

具体的な活動としては、2005-6年ごろの資料を見直すとともに、木造建築を補修・保存する専門家にお話を聞くなどして、どうすれば十分な補修を（できるだけ安く）行えるか学んでいます。その中で大きな発見は、「この建物の老朽化を食い止めるため、また、強度を建築当初の状態に戻すために、自分たちの手でできることは少なくない」ということでした。

そこで、月に一度、第2土曜日に「土木作業日」というイベントを企画し、寮生と寮に関わる寮外の人で、土台にかかる土を掘ったり、建物に肉薄する木を剪定したりしています。詳しくは、土木作業日の紹介があるのでそちらをご覧ください。みんなで体を動かして、それが寮のためになっている、結構これは気持ちいいものですよ。

## 終わりに

寮に入っても入らなくても、吉田寮がどれだけ素敵で、どれだけ古くなっていて、どんな未来が見えるのか、知りたい人はぜひ大規模補修特別委員会の活動に注目を！寮の電話（075-753-2537）や、吉田寮に立ち寄った時に「大規模補修特別委員会（略してだいほとくC）」を呼び出してもらえれば、そのとき寮にいるメンバーがいろいろとお答えします。

毎月第2土曜日の軽作業イベント「土木作業日」はだれでもウエルカムです。開始時間に寮の受付集合！ 毎回作業後には打ち上げ（みんなでご飯、作業に参加した人は無料！）やります。日時や作業内容は、東大路通りに立て看を出したりしてお知らせします。作業の成果はビラにして、学内でもまく予定です。

こんないい建物、何もせずに潰してしまっはもったいないじゃないですか

# 何ナンド! 土木作業!?

① 土木作業ってどっから湧いてきたの?

知ってる通り吉田寮は古い! 老朽化対策しなきゃダメ!



大学にやってもうの選択肢だが、自分で使ったんだし、自治してるんだから、自分でできたところはやんちゃでグッ、グッしてプロで、自力補修のノウハウとして土木が湧いてきたんだネ。



なんで、実際にやってみるとすごく楽しいんだ。これ...



② 土木作業って何が楽しいの?

まず、体を動かすのが楽しい。「どい低脳が!!」とか「ウッハッハッ!」とか叫びながら土を掘ったり、大きな根を断つのは爽快だよ。

そして、成果が一目瞭然で、達成感がすごく得られるところも。

さらに、体を動かすのが好きじゃなくても、屋根に登ると気分が爽やかだよ。

ついでに、手入れが楽 藓の繁殖が少なくて、なんでまたどんどんやりたく存ず。

サイゾに、クワ×シ がたんぱり吸え!! 二大大事!



んで、具体的に何するかっていうと...



③ 土木作業って何すんの?

吉田寮は木造建築だ!



木造建築補修の専門家 アーキ工務店さんに話をきいてみた!

すると次のことをせよとのお告げを得た。



- |     |                          |                                     |
|-----|--------------------------|-------------------------------------|
| お告げ | ・土掘り                     | ☺ 寮全体の土台の水はけが悪く、土台が腐ってきているから。       |
|     | ・屋根の落ち葉落とし               | ☺ 屋根にたまった落ち葉は雨漏りの原因。よから腐っていくのを防ぐため。 |
|     | ・木の剪定                    | ☺ 屋根にかかった木の枝を切れば、落ち葉はたまりないから。       |
|     | ・雨柵                      | ☺ 傾土が増えたから。                         |
|     | ・焚火                      | ☺ 切った木は燃やせば、あと火あそび好きだし...           |
| ・打上 | ☺ エネルギー使ったら補給しないとイケないから。 |                                     |



って新しい感覚のこ(全部じゃないけど、毎回)を月に一回やってきたし、これからはやめてくマヨリ。

## ◎「土木っていい」サイゴに山内(大補特CのE)個人の感想

新入寮生だった今年度、私も自分は「自治」ってものについて、高校でその類いのこと(もちろん極道の重要性、深刻さは異なりが)をやってきたことあって、入居前からこれなりに考えは来ていた、けど...

入寮早々に、長々と話してくせに内輪の人以外には何や、てんのかわかんないけど総会に拒絶反応を示して以来、入寮パンフレットが受けた「勉強なんかしない」という印象の案に対抗 軽蔑と相まって、前期は大ましく自治に参加せず、新入寮生以外との交流を極めて少なかった(てか、誰が誰だかわかんかったし...)、で「そ...

寮 になんか馴染んで迎えた後期に、自分に要求しすぎて(元々そういう性質があって...)勉強がきつくなったり、まよ色になって勉強形式上(つまり授業に出たり、単位をとるとい意味で)しなくなったときに、たまたま一回の土木作業に誘われて、「授業出ないんだし、いやが」って参加して見たら、興味深い人がいっぱいいたり、作業自体が楽しかったりで、結局これ以降、全土木に加わった。それを入口にして、上田生と交流したり、免んな人、物に村坊 拒絶反応が薄らいでいって、勉強に力をつけて「自分にとって濃い時間」を探ったり、過ごしたりするのが大学だろ、て思いついた。自治についても「頭での自治参加(良識など)」と「体での自治参加(土木、おじいなど)」のどちらもないのはつまらない、自分の自由に村坊責任を果たしていいと思うけど、どちらかで十分だろうとモヤモヤも感じたりと、自分が少し丸く成っていくのを感じた。そんで...

生 活が変わってきて、いまだに「7Yだろ」といわれ(オレもいって)総会にも出たことになって、それを「7Y」でないうちに変えていくのも実行に移してつある(まあその実行の減もたししないんだが...)とんて! ナンカ土木がよそれってけど、と・に・が・く! オレは前より今の方が寮の居心地、俺というぬいごみの着心地がイイ。きっと上田生や、一部の新入寮生(オレと同期の)から見たオレの接し心地もよくなったと思う。7Yだろ! 多くの人にとって今の方が better ってコトヨ!

よ く考えや(よく考えなくてモ?)新入寮生の中に俺みたいな奴がいてもかまわないわけ、前期のオレより後期のオレの方が、多くの人(主に自治好きとあれ自治嫌いな人とオレ自身)にとってイイから、次の新入寮生が入ってきたらどんな関係でも空気でも心算やちやらかいでせよに俺はしたい、土木は今年の新入寮生だった俺にとってのそういう入口だったんだけど、だいたい、なんアホ、7Yだろ! まず!

土木しようせ! ってコトヨ!

◎ といわけで 新歓土木します!!

- ・打上がいアホより豪華
- ・木造建築と語会モ打!

日時返って寮内に告知します。

# 食残 C (たべのこしー) について

文責：食残 C

- 新たに吉田寮に入られるみなさん、こんにちは！

このページでは、食残 C (たべのこしー) について説明します。食残 C っていうのは、

吉田寮**食**堂を **残**そう 実行委員会 (Committee)

の通称です。

- なんで吉田寮食堂を残そうとしているのか？まずそこから説明したいと思います。

「吉田寮食堂」(以後、「寮食」) は、吉田寮の西側にある建物です。

木造の建築で、今年で築 97 年！を迎えます。

現在の寮食はそもそも、食堂と呼ばれるものの、食堂としての機能はありません。もともとは寮の食堂だったんですが、大学側が 25 年ほど前に食堂機能を一方的に停止したからです。

そのまま、何の使い道もない空間のままだったなら、取り壊されても無理はないかもしれませんが。

しかし、そうではない。

食堂の機能を失い、単なる「空間」となった寮食は、いつのまにか色々な人たちが集まって、さまざまなイベントを行うスペースとしての使い道を見出されました。

食堂の厨房だった部分には、音響機材を持ち込んでバンドの練習が行われています。食堂のスペースではさまざまなイベントが開催されるほか、サークルなどの活動拠点にもなったりします。

吉田寮の、自治の精神ですね。人間関係の網の上で、寮食は生き残り、息を吹き返しました。ライブ演奏をする人、演劇をする人、パーティをする人、この「空間」に魅せられた色々な人たちが、色々な使い方で、寮食を盛り上げて来たんです。

現在でも完全な自主管理を貫いており、食堂に関しては食堂使用者会議、厨房に関しては厨房使用者会議が機能して、管理を行っています。

そう、魅せられるんです。ここには、僕らの何かを惹きつけてやまない環境があるんです。

- ところが。2009 年の 4 月頃、寮食を取り壊すかも、という話が大学当局から持ち上がりました。この寮食のさらに西のスペース(「焼け跡」)と、寮食を取り壊した跡地に、新しい寮を増築して、今の寮に住む人たちの受け入れ態勢を整え、それから今の寮の建て替えの話を進めて行こう、という提案が、大学当局からなされたのです。

新しい寮を建てること自体はよい提案なのですが(ただし現在、大学当局がこちらに対し示

している案は決してよいものではありませんが)、寮食を取り壊す、というのは食堂・厨房使用者を含め反対の声が多く、何とか食堂を残したまま新棟を建てることはできないか、と模索することになりました。

そこで、これまでに大学当局との交渉を何度も重ねてきました。寮食がいかに貴重な空間であるかを主張したり、建築に関する各種の規制を調べたり、寮食を取り壊さずとも、十分に人を収容できる建物が建てられることを、図面とにらみ合いながら話し合ったり…etc.

こうした活動は現在に至るまで続いていますし、依然どうなるか分かりません。**寮食は今、揺れ動いています。**京都大学は今のところ（2010年2月現在）吉田寮食堂を取り壊すことを前提として、吉田寮の新棟建設を計画しています。私たちは寮食という場所のかけがえのなさを訴えかけましたが、依然として議論は着地点を見いだせないままです。端的に言えばこのような状況なのですが、当然それだけでは言い尽くせません。

●とにかく、寮食を取り壊されては、僕らにとっては一大事というわけです。

そこで、こうした活動のさなか、**2009年5月頃**に作られたのが、**食残C**です。何とか寮食を残しつつ、新しい寮を建てることはできないのか？

その方法を探っていくために、吉田寮自治会とも連携しつつ、大学当局と交渉していこう、という非常に重要な役割を担う会議です。

寮食に興味がある、という人は、寮外・寮内、学外・学内を問わず誰でも参加できます。吉田寮食堂の存亡に大きく関わられます。寮食の雰囲気にかかれた方、建物に愛着の湧いた方には、ぜひ食残Cの会議を覗きにきてもらいたいです。興味があれば、食堂・厨房使用者会議、寮食でのイベントにも、積極的に参加して頂きたいです。